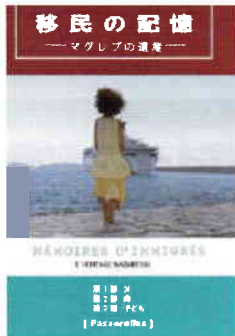


● 移民の記憶

オススメ

パスレル (日本語版制作ビデオプレス)・2007年・156分 (三部作)・4500円 (団体7500円)

フランス在住マグレブ移民のルーツをたどるドキュメンタリー。1997年に公開され、フランスで大きな反響を呼んだ。戦後復興を支える安価な労働力として (旧)植民地から動員され、底辺労働に従事させられた移住労働者とその家族の記憶。ヤギナ・ベンギギ監督。



● 郵政クビ切り物語

ビデオプレス・2005年・68分・6000円 (団体20000円)

職場をよくしようと思って全通労組のたたかいに参加した。そうしたら首になった。20歳台だった。その後、労組に見捨てられた。それでも「おかしいことはおかしい」と25年間闘っている郵便屋さんがいる。郵政4・28闘争の記録。

● リストラとたたかう男

— フジ産経グループ記者・松沢弘

ビデオプレス・2003年・70分・5000円 (団体15000円)

フジサンケイグループの記者だった松沢弘さんは、9年前に新組合を作ったために「懲戒解雇」された。大企業の横暴、そしてそれを追認する裁判所。巨大な敵と敢然と立ち向かう人間のドキュメント。平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞受賞。

● 組合づくり — リストラへの回答

全労協 (協力ビデオプレス)・1999年・30分・

3000円 (団体9000円)

東京・江東区のある運送会社で働くドライバーたちの労働組合づくりのドキュメント。組合を作るにはどうしたらいいのか、初めての団交の手順・心構えなど実践的なアドバイスも含め、組合の魅力と感動を生きいきと伝える。組合学習用に最適。

● 規制緩和はいらない

— リバプールからのメッセージ

ビデオプレス・1998年・20分・3000円 (団体9000円)

リバプール港湾争議をたたかう英国労働者と日本の国労闘争団との交流記録。サッチャー・中曽根の規

制緩和・民営化政策、マスメディアを使った「働かない労働者」キャンペーンは、両者への共通した攻撃だった。

● ピケをこえなかった男たち

オススメ

— リバプール港湾労働者の闘い

日本語版制作ビデオプレス・1997年・50分・

5000円 (団体15000円)

解雇された仲間のピケット (ストライキ) を破らず、連帯を示しただけで解雇された500人のリバプールの港湾労働者のたたかい。「大地と自由」のケンローチが、労働者へ愛情をこめて描いたTVドキュメンタリーの日本語版。



< 国鉄闘争 >

● 国鉄改革の真相

ビデオプレス・2006年・18分・3000円 (団体9000円)

「国鉄改革」とは何だったのか? 中曽根元首相は「国労・総評・社会党つぶしだった」と語っている。このビデオは、企業人教育・人材活用センター・組合脱退強要・清算事業団など「国鉄改革」の裏で進行した、国家的不当労働行為の実態を明らかにする。



オススメ

● レールは警告する — 尼崎事故とJR東日本

ビデオプレス・2005年・43分・4000円 (団体12000円)

尼崎事故はJR西日本だけの問題なのか。JR東日本でも他社とのスピードアップ競争、組合差別の労務管理、外注労働者の

